



Red Hat JBoss Enterprise Application Platform 8.0

JBoss サーバー移行ツールの使用

サーバー設定を Red Hat JBoss Enterprise Application Platform 8.0 に移行する場合

Red Hat JBoss Enterprise Application Platform 8.0 JBoss サーバー移行 ツールの使用

サーバー設定を Red Hat JBoss Enterprise Application Platform 8.0 に移行する場合

法律上の通知

Copyright © 2024 Red Hat, Inc.

The text of and illustrations in this document are licensed by Red Hat under a Creative Commons Attribution–Share Alike 3.0 Unported license ("CC-BY-SA"). An explanation of CC-BY-SA is available at

<http://creativecommons.org/licenses/by-sa/3.0/>

. In accordance with CC-BY-SA, if you distribute this document or an adaptation of it, you must provide the URL for the original version.

Red Hat, as the licensor of this document, waives the right to enforce, and agrees not to assert, Section 4d of CC-BY-SA to the fullest extent permitted by applicable law.

Red Hat, Red Hat Enterprise Linux, the Shadowman logo, the Red Hat logo, JBoss, OpenShift, Fedora, the Infinity logo, and RHCE are trademarks of Red Hat, Inc., registered in the United States and other countries.

Linux[®] is the registered trademark of Linus Torvalds in the United States and other countries.

Java[®] is a registered trademark of Oracle and/or its affiliates.

XFS[®] is a trademark of Silicon Graphics International Corp. or its subsidiaries in the United States and/or other countries.

MySQL[®] is a registered trademark of MySQL AB in the United States, the European Union and other countries.

Node.js[®] is an official trademark of Joyent. Red Hat is not formally related to or endorsed by the official Joyent Node.js open source or commercial project.

The OpenStack[®] Word Mark and OpenStack logo are either registered trademarks/service marks or trademarks/service marks of the OpenStack Foundation, in the United States and other countries and are used with the OpenStack Foundation's permission. We are not affiliated with, endorsed or sponsored by the OpenStack Foundation, or the OpenStack community.

All other trademarks are the property of their respective owners.

概要

このガイドでは、JBoss Server Migration Tool を使用してアプリケーションサーバー設定を以前のリリースの JBoss EAP から JBoss EAP 8.0 に移行する方法について説明します。

目次

JBOSS EAP ドキュメントへのフィードバック (英語のみ)	3
多様性を受け入れるオープンソースの強化	4
第1章 JBOSS サーバー移行ツールの概要	5
1.1. RED HAT JBOSS ENTERPRISE APPLICATION PLATFORM について	5
1.2. このドキュメントでの EAP_PREVIOUS_HOME、EAP_NEW_HOME、および MIGRATION_TOOL_HOME の使用について	5
第2章 作業を開始する前に	7
2.1. クリーンなターゲットサーバーで実行する	7
2.2. 移行のカスタマイズ	7
第3章 JBOSS SERVER MIGRATION TOOL の実行	8
3.1. 対話モードでの JBOSS SERVER MIGRATION TOOL の実行	8
3.2. 非対話モードでの JBOSS SERVER MIGRATION TOOL の実行	10
第4章 JBOSS SERVER MIGRATION TOOL の実行結果の確認	11
4.1. 移行した設定ファイルの確認	11
4.2. 移行タスクの実行の追跡	12
4.3. TASK SUMMARY ログの確認	12
4.4. JBOSS SERVER MIGRATION TOOL レポートの確認	13
第5章 JBOSS SERVER MIGRATION TOOL の設定	15
5.1. JBOSS SERVER MIGRATION TOOL のプロパティ設定	15
5.2. JBOSS SERVER MIGRATION TOOL のログイン設定	16
5.3. モジュール移行の設定	16
5.4. JBOSS SERVER MIGRATION TOOL のレポート設定	17
5.5. スタンドアロンサーバー設定の移行の設定	18
5.6. マネージドドメイン設定の移行の設定	19
5.7. JBOSS SERVER MIGRATION TOOL が実行する移行タスクの設定	20
第6章 JBOSS EAP 6.4 設定の JBOSS EAP 8.0 への移行	21
第7章 JBOSS EAP 7.X 設定の JBOSS EAP 8.0 への移行	22
7.1. JBOSS EAP 7.X スタンドアロンサーバーの JBOSS EAP 8.0 への移行	22
7.2. JBOSS EAP 7.X マネージドドメインの JBOSS EAP 8.0 への移行	29
7.3. JBOSS EAP 7.X ホスト設定の JBOSS EAP 8.0 への移行	38
付録A 参考資料	39
A.1. TASK SUMMARY レポートの例	39
A.2. HTML レポートの例	39
A.3. XML レポートの例	41

JBoss EAP ドキュメントへのフィードバック (英語のみ)

エラーを報告したり、ドキュメントを改善したりするには、Red Hat Jira アカウントにログインし、課題を送信してください。Red Hat Jira アカウントをお持ちでない場合は、アカウントを作成するように求められます。

手順

1. [このリンクをクリック](#) してチケットを作成します。
2. **Summary** に課題の簡単な説明を入力します。
3. **Description** に課題や機能拡張の詳細な説明を入力します。問題があるドキュメントのセクションへの URL を含めてください。
4. **Submit** をクリックすると、課題が作成され、適切なドキュメントチームに転送されます。

多様性を受け入れるオープンソースの強化

Red Hat では、コード、ドキュメント、Web プロパティにおける配慮に欠ける用語の置き換えに取り組んでいます。まずは、マスター (master)、スレーブ (slave)、ブラックリスト (blacklist)、ホワイトリスト (whitelist) の 4 つの用語の置き換えから始めます。この取り組みは膨大な作業を要するため、今後の複数のリリースで段階的に用語の置き換えを実施して参ります。多様性を受け入れる用語に変更する取り組みの詳細は、[Red Hat CTO である Chris Wright のメッセージ](#) を参照してください。

第1章 JBOSS サーバー移行ツールの概要

1.1. RED HAT JBOSS ENTERPRISE APPLICATION PLATFORM について

Red Hat JBoss Enterprise Application Platform (JBoss EAP) は、Jakarta Enterprise Edition 10 仕様と互換性のあるオープン標準に基づいて構築されたミドルウェアプラットフォームです。

JBoss EAP の 8.0 リリースは、Web Profile、Core Profile、および Full Platform 仕様の Jakarta EE Jakarta Enterprise Edition 互換実装です。8.0 リリースは、Jakarta EE Jakarta Enterprise Edition Web Profile、Core Profile、および Full Platform 仕様の認定実装でもあります。

JBoss EAP はサーバーインスタンスに 2 つの動作モードを提供します。

スタンドアロンサーバー

スタンドアロンサーバーの動作モードは、JBoss EAP を単一のサーバーインスタンスとして実行することを表します。

マネージドドメイン

マネージドドメインの操作モードを使用すると、単一の制御ポイントから複数の JBoss EAP インスタンスを管理できます。

JBoss EAP には、セキュアでスケーラブルな Jakarta EE アプリケーションを迅速に開発するための API と開発フレームワークが含まれています。JBoss EAP サーバーにデプロイされたアプリケーションへ公開される API と機能の多くは、サーバー設定ファイルで設定されたサブシステムに編成されます。たとえば、JBoss EAP スタンドアロンサーバーまたはマネージドドメインにデプロイされたアプリケーションからアクセスできるように、datasources サブシステムでデータベースアクセス情報を設定します。新機能の導入や他の機能の非推奨化により、JBoss EAP のリリース間でサーバー設定の変更が必要になる場合があります。

Red Hat JBoss Enterprise Application Platform の詳細は、Red Hat カスタマーポータル[の JBoss EAP の製品ドキュメント](#)を参照してください。

1.2. このドキュメントでの EAP_PREVIOUS_HOME、EAP_NEW_HOME、および MIGRATION_TOOL_HOME の使用について

このドキュメントでは、**source** サーバーインストールへのパスを示すために、変数 **EAP_PREVIOUS_HOME** を使用します。この変数は **source** サーバーインストールへの実際のパスに置き換えてください。さらに、**target** サーバーインストールへのパスを示すために、変数 **EAP_NEW_HOME** を使用します。この変数は **target** サーバーインストールへの実際のパスに置き換えてください。また、変数 **MIGRATION_TOOL_HOME** は、移行ツールがインストールされているディレクトリを示します。

1.2.1. JBoss EAP インストールパス

- **.zip** ファイルインストール方法を使用して JBoss EAP をインストールした場合、インストールディレクトリは **.zip** ファイルを展開した **jboss-eap-8.0** ディレクトリです。
- RPM インストール方法を使用して JBoss EAP をインストールした場合、インストールディレクトリは **/opt/rh/eap8/root/usr/share/wildfly/** です。
- インストーラーを使用して JBoss EAP をインストールした場合、**EAP_NEW_HOME** のデフォルトのパスは **`\${user.home}/EAP-8.0.0** です。

- Red Hat Enterprise Linux、Solaris、および HP-UX の場合: **/home/USER_NAME/EAP-8.0.0/**
- Microsoft Windows の場合: **C:\Users\USER_NAME\EAP-8.0.0**
- JBoss Developer Studio インストーラーを使用して JBoss EAP サーバーをインストールおよび設定した場合、**EAP_NEW_HOME** のデフォルトのパスは **`\${user.home}/jbdevstudio/runtimes/jboss-eap`** です。
 - Red Hat Enterprise Linux の場合: **/home/USER_NAME/jbdevstudio/runtimes/jboss-eap/**
 - Microsoft Windows の場合: **C:\Users\USER_NAME\jbdevstudio\runtimes\jboss-eap** または **C:\Documents and Settings\USER_NAME\jbdevstudio\runtimes\jboss-eap**

第2章 作業を開始する前に

2.1. クリーンなターゲットサーバーで実行する

JBoss Server Migration Tool は、以前のリリースの設定に基づいて設定ファイルを作成します。そのため、このツールはクリーンで未設定のターゲットサーバー上で実行することを想定しています。JBoss Server Migration Tool は、**.beforeMigration** をファイル名に追加して、ターゲットサーバーの設定ファイルのバックアップを作成します。次に、ソースサーバーの設定ファイルを使用してターゲットサーバー用に完全に新しい設定ファイルを作成し、その設定をターゲットサーバー設定で実行するように移行します。



警告

JBoss Server Migration Tool を実行すると、インストールから移行ツールの実行までの間にターゲットサーバー上で行われたすべての変更が失われます。

また、ターゲットサーバーのディレクトリーに対してツールを複数にわたり実行する場合は、後続の実行により、ツールを初めて実行したときにバックアップされた元のターゲット設定ファイルが上書きされます。これは、ツールを実行する度に **.beforeMigration** を追加して設定ファイルをバックアップしているため、バックアップを取得し、既存のバックアップ設定ファイルが失われるためです。

2.2. 移行のカスタマイズ

JBoss Server Migration Tool では、移行タスクのロギング、レポート、および実行を設定する機能を利用できます。デフォルトでは、非対話モードで JBoss Server Migration Tool を実行すると、サーバー設定全体が移行されます。JBoss Server Migration Tool を設定して、ロギングおよびレポートの出力をカスタマイズできます。また、移行したくない設定の一部を省略するように設定することも可能です。

関連情報

- 移行プロセスを制御するプロパティを設定する方法については、[JBoss Server Migration Tool の設定](#) を参照してください。

第3章 JBOSS SERVER MIGRATION TOOL の実行

JBoss Server Migration Tool は以下のいずれかの方法で実行できます。

- **対話モード**: デフォルトであるこのモードを使用すると、移行する設定を細かく選択できます。
- **非対話モード**: このモードでは、プロンプトなしでツールを実行できます。



重要

JBoss Server Migration Tool を実行する前に、ソースとターゲットの JBoss EAP サーバーの両方を停止する必要があります。

3.1. 対話モードでの JBOSS SERVER MIGRATION TOOL の実行

デフォルトでは、JBoss Server Migration Tool はインタラクティブに実行されます。このモードでは、移行するサーバー設定を正確に選択できます。



注記

対話モードでは、移行するサブシステムを選択できません。サブシステムまたはタスクレベルでツールを設定する方法については、[JBoss Server Migration Tool が実行する移行タスクの設定](#)を参照してください。

以下は、最小限の移行を実行する基本的な手順です。移行元となるサーバーにカスタム設定 (例: デプロイメント) が含まれる場合や、デフォルトのリソースがない場合は、ツールにより追加のプロンプトが表示されます。

手順

1. 対話モードでツールを実行するには、ターゲットサーバーのインストールディレクトリーに移動し、**source** 引数をソースサーバーインストールへのパスとして指定します。

```
$ MIGRATION_TOOL_HOME/bin/jboss-server-migration.sh --source
EAP_PREVIOUS_HOME --target EAP_NEW_HOME
```

2. **EAP_PREVIOUS_HOME/standalone/configuration/** ディレクトリーにあるソースサーバーのスタンドアロン設定を、**EAP_NEW_HOME/standalone/configuration/** ディレクトリーにあるターゲットサーバーのスタンドアロン設定に移行するかどうかを決定するように求められます。

```
Migrate the source's standalone server?
yes/no? yes
```

no で応答すると、スタンドアロンサーバーの移行は省略され、スタンドアロンサーバー設定ファイルは移行されません。

yes で応答すると、以下のプロンプトが表示されます。

```
Migrate all configurations?
yes/no? yes
```

yes で応答し、ソースサーバーのスタンドアロンサーバー設定ファイルをすべて移行します。

no で応答すると、各 **standalone*.xml** 設定ファイルのプロンプトを受信します。

- 次に、**EAP_PREVIOUS_HOME/domain/configuration/** ディレクトリーにあるソースサーバーのマネージドドメイン設定を **EAP_NEW_HOME/domain/configuration/** ディレクトリーにあるターゲットサーバーの設定に移行するかどうかを決定するように求められます。

```
Migrate the source's managed domain?
yes/no? yes
```

no で応答すると、マネージドドメインの移行は省略され、マネージドドメインの設定ファイルは移行されません。

yes で応答すると、ツールはソースサーバーのマネージドドメインコンテンツの移行を開始します。暗号化されたりポジトリーは、ソースサーバーのマネージドドメインおよびホスト設定によって参照されるデプロイメントやデプロイメントオーバーレイなどのデータを保存するために使用されます。ソースサーバーとターゲットサーバーは同様のコンテンツリポジトリーを使用するため、ツールはソースサーバーからターゲットサーバーにデータをコピーして、結果をコンソールおよびサーバーログに出力します。

```
INFO [ServerMigrationTask#397] Migrating domain content found:
[22/caa450a9ba3b84eaf5a15b6da418b92ce6c98e/content,
23/b62a37ba8a4830622bfcdb960280577cc6796e/content]
INFO [ServerMigrationTask#398] Resource with path
/EAP_NEW_HOME/domain/data/content/22/caa450a9ba3b84eaf5a15b6da418b92ce6c98e/co
ntent migrated.
INFO [ServerMigrationTask#399] Resource with path
/EAP_NEW_HOME/domain/data/content/23/b62a37ba8a4830622bfcdb960280577cc6796e/co
ntent migrated.
```

- 次に、移行ツールは、マネージドドメイン設定ファイルのソースサーバーをスキャンし、コンソールに結果を出力して、以下のプロンプトを表示します。

```
Migrate all configurations?
yes/no? yes
```

yes で応答すると、ソースサーバーのマネージドドメイン設定ファイルをすべて移行します。

no で応答すると、各マネージドドメイン設定ファイルのプロンプトを受信します。

- 次に、移行ツールは、ホスト設定ファイルのソースサーバーをスキャンし、コンソールに結果を出力します。そして以下のプロンプトが表示されます。

```
INFO [ServerMigrationTask#457] Retrieving source's host configurations...
INFO [ServerMigrationTask#457] /jboss-eap-8.0/domain/configuration/host-master.xml
INFO [ServerMigrationTask#457] /jboss-eap-8.0/domain/configuration/host-slave.xml
INFO [ServerMigrationTask#457] /jboss-eap-8.0/domain/configuration/host.xml
```

```
Migrate all configurations?
yes/no? yes
```

yes で応答すると、ソースサーバーのホスト設定ファイルをすべて移行します。

no で応答すると、各ホスト設定ファイルのプロンプトを受信します。

- 完了すると、サーバーコンソールに以下のメッセージが表示されます。

Migration Result: SUCCESS

3.2. 非対話モードでの JBOSS SERVER MIGRATION TOOL の実行

JBoss Server Migration Tool は非対話モードで実行できます。このモードでは、プロンプトなしで実行できます。



注記

JBoss Server Migration Tool は、すべてのサーバー設定ファイルのすべてのサブシステム設定を自動的に移行します。サブシステムまたはタスクレベルでツールを設定する方法については、[JBoss Server Migration Tool が実行する移行タスクの設定](#) を参照してください。

手順

1. 非対話モードでツールを実行するには、ターゲットサーバーのインストールディレクトリーに移動し、以下のコマンドを実行します。このとき、ソースサーバーインストールへのパスとして **source** 引数を指定し、**--interactive** または **-i** 引数を **false** に設定します。

```
$ MIGRATION_TOOL_HOME/bin/jboss-server-migration.sh --source  
EAP_PREVIOUS_HOME --target EAP_NEW_HOME --interactive false
```

2. デフォルトでは、このツールは、すべてのソースサーバーのスタンドアロンおよびマネージドドメインのすべての設定ファイルを自動的に移行します。ただし、ツールのプロパティを設定することで、特定の設定の移行を省略することができます。完了すると、サーバーコンソールに以下のメッセージが表示されます。

Migration Result: SUCCESS

第4章 JBOSS SERVER MIGRATION TOOL の実行結果の確認

4.1. 移行した設定ファイルの確認

移行が完了したら、移行したサーバー設定ファイルを **EAP_NEW_HOME/standalone/configuration/** および **EAP_NEW_HOME/domain/configuration/** ディレクトリーで確認します。

- 移行用に選択した元の **EAP_NEW_HOME** のターゲットサーバーファイルは、バックアップされて名前に **.beforeMigration** が追加されています。
- 名前に **.beforeMigration** が追加されていない **EAP_NEW_HOME** のターゲットサーバー設定ファイルは、**EAP_PREVIOUS_HOME** のソースサーバー設定から移行された内容で更新されています。
- **EAP_PREVIOUS_HOME** ソースサーバー設定ディレクトリーに位置する元の設定ファイルは変更されません。
- ターゲット設定ディレクトリーの **logging.properties** および **standalone-load-balancer.xml** ファイルは変更されません。

使用できるすべての設定を移行する場合は、ターゲットサーバーディレクトリーに以下の設定ファイルが表示されるはずです。

例: ターゲットサーバー上の設定ファイルのリスト

```
$ ls EAP_NEW_HOME/standalone/configuration/
application-roles.properties
application-roles.properties.beforeMigration
application-users.properties
application-users.properties.beforeMigration
logging.properties
mgmt-groups.properties
mgmt-groups.properties.beforeMigration
mgmt-users.properties
mgmt-users.properties.beforeMigration
standalone-full-ha.xml
standalone-full-ha.xml.beforeMigration
standalone-full.xml
standalone-full.xml.beforeMigration
standalone-ha.xml
standalone-ha.xml.beforeMigration
standalone-load-balancer.xml
standalone-osgi.xml
standalone-osgi.xml.beforeMigration
standalone.xml
standalone.xml.beforeMigration

$ ls EAP_NEW_HOME/domain/configuration/
application-roles.properties
application-roles.properties.beforeMigration
application-users.properties
application-users.properties.beforeMigration
domain.xml
domain.xml.beforeMigration
host-master.xml
```

```

host-master.xml.beforeMigration
host-slave.xml
host-slave.xml.beforeMigration
host.xml
host.xml.beforeMigration
logging.properties
mgmt-groups.properties
mgmt-groups.properties.beforeMigration
mgmt-users.properties
mgmt-users.properties.beforeMigration

```

4.2. 移行タスクの実行の追跡

JBoss Server Migration Tool は、ルートタスクを実行して各ターゲットサーバーの移行を開始します。次にサブタスクが実行されます。これらのサブタスクは、その他のタスクおよびサブタスクも実行できます。ツールはタスクの実行中に、サブタスクとともに各移行タスクを追跡し、後でレポートの作成に使用されるツリー構造に結果を保存します。

各移行タスクには名前が与えられます。この名前は、次の構文を使用して、タスク名とオプションの属性を連結して構成されます。

```
TASK_NAME(ATTRIBUTE_1_NAME=ATTRIBUTE_1_VALUE,ATTRIBUTE_2_NAME=ATTRIBUTE_2_VALUE, ...)
```

この名前は、タスクサブジェクトまたはタイプを定義します。また、属性は、サブタスクとシブリングタスク間の区別に使われます。たとえば、以下のすべては Jakarta Enterprise Beans サブシステムの更新タスクを区別するための名前です。

```

subsystem.ejb3.update
subsystem.ejb3.update.activate-ejb3-remoting-http-connector(resource=/subsystem=ejb3)
subsystem.ejb3.update.setup-default-sfsb-passivation-disabled-cache(resource=/subsystem=ejb3)
subsystem.ejb3.update.add-infinispan-passivation-store-and-distributable-cache(resource=/subsystem=ejb3)

```

移行タスクは各種親タスクで複数回実行できるため、各タスクはそれぞれの親タスクを使用してツリーに保存されます。これは root で始まり、> 文字で区切られます。タスク実行ツリーは、移行レポートの構築に使用されます。

タスクを実行すると、以下のステータスのいずれかになります。

表4.1 サーバー移行タスクの実行ステータス

ステータス	説明
Success	タスクが正常に実行されました。
Skipped	タスクでは、不要であるか、スキップするように設定されたため、実行をスキップしました。
Fail	タスクの実行に失敗しました。

4.3. TASK SUMMARY ログの確認

Task Summary が生成され、移行コンソールと JBoss Server Migration Tool ログファイルに出力されます。これは、コンポーネントやサブタスクによって階層リストとして詳細な移行結果を示します。

関連情報

- [Task Summary レポートの例](#) については、このガイドの付録を参照してください。
- Task Summary レポートを設定するオプションの詳細は、[Task Summary ログの設定](#) を参照してください。

4.4. JBOSS SERVER MIGRATION TOOL レポートの確認

JBoss Server Migration Tool は、適切にフォーマットされた HTML および XML レポートを **MIGRATION_TOOL_HOME/reports/** ディレクトリーに生成します。これらのレポートは、移行プロセスの詳細な分析と、ターゲットサーバーが移行中にどのように設定されたかを示します。これらのレポートのデフォルト名は **migration-report.html** と **migration-report.xml** です。これらの名前はそれぞれ設定可能です。

このセクションでは、これらのレポートの内容の概要を説明します。

- [JBoss Server Migration Tool HTML レポート](#) ファイル
- [JBoss Server Migration Tool XML レポート](#) ファイル

関連情報

- レポートの設定方法については、[JBoss Server Migration Tool のレポート設定](#) を参照してください。

4.4.1. JBoss Server Migration Tool HTML レポート

HTML レポートは3つのセクションで構成されます。

概要

このセクションでは、実行開始時間、ソースおよびターゲットサーバーに関する情報、移行の結果を説明します。

Environment

このセクションでは、移行に使用された環境プロパティをリスト表示します。

Tasks

このセクションでは、折りたたみのサブセクションが含まれ、実行された移行タスクの統計とマップを説明します。各タスクは名前でもリスト表示され、タスクの完了ステータスに応じて色で指定されます。

- 成功した場合には緑になります。
- 失敗した場合には赤になります。
- スキップされた場合にはグレーになります。

関連情報

- [HTML レポートの例](#) については、このガイドの付録を参照してください。
- HTML レポートの設定オプションについては、[HTML レポートの設定](#) を参照してください。

4.4.2. JBoss Server Migration Tool XML レポート

XML レポートは、ツールによって収集されるすべての移行データを提供する低レベルレポートです。これは、サードパーティースプレッドシートまたは他のデータ操作ツールでインポートおよび操作できる方法でフォーマットされます。

関連情報

- [XML レポートの例](#) については、このガイドの付録を参照してください。
- XML レポートの設定オプションについては、[XML レポートの設定](#) を参照してください。

第5章 JBOSS SERVER MIGRATION TOOL の設定

5.1. JBOSS SERVER MIGRATION TOOL のプロパティ設定

プロパティを使用して JBoss Server Migration Tool のロギングとレポート出力を設定し、移行するコンポーネントおよび設定を決定します。プロパティは次の方法を組み合わせて設定できます。

- ツール内で定義された [プロパティファイル](#) を設定する。
- [コマンドライン](#)でユーザープロパティを渡す。
- [システム環境変数](#) を設定する。

5.1.1. ツールプロパティを使用した JBoss Server Migration Tool の設定

JBoss Server Migration Tool は、**MIGRATION_TOOL_HOME/configuration/** ディレクトリーにある **environment.properties** ファイルを使用して設定できます。この標準的な Java プロパティファイルは、ターゲットサーバーへの移行時に設定可能なすべての有効なプロパティのデフォルト値を提供します。デフォルト値を変更するには、プロパティの前にあるコメント文字 **#** を削除し、必要な値に設定します。

5.1.2. ユーザープロパティを使用した JBoss Server Migration Tool の設定

JBoss Server Migration Tool の設定プロパティを定義する標準の Java プロパティファイルを作成し、**--environment** や **-e** 引数を使用してコマンドラインでそのパスを渡すこともできます。このパスは、現在のディレクトリーに対する絶対パスまたは相対パスになります。

```
$ MIGRATION_TOOL_HOME/bin/jboss-server-migration.sh --source EAP_PREVIOUS_HOME --target EAP_NEW_HOME --environment path/to/my-server-migration.properties
```

--environment または **-e** 引数を使用してコマンドラインで渡されたファイルで定義されたプロパティは、**MIGRATION_TOOL_HOME/migration/configuration/environment.properties** ファイルで定義されたプロパティをオーバーライドします。

5.1.3. システムプロパティを使用した JBoss Server Migration Tool の設定

以下の構文を使用して、JBoss Server Migration Tool をコマンドラインにシステムプロパティを渡すと設定できます。

```
$ MIGRATION_TOOL_HOME/bin/jboss-server-migration.sh --source EAP_PREVIOUS_HOME --target EAP_NEW_HOME -Djboss.server.migration.PROPERTY_NAME=PROPERTY_VALUE
```

システムプロパティ名は、環境プロパティ名と連結された **jboss.server.migration.** に環境変数名を指定する必要があります。以下の例では、JBoss Server Migration Tool の起動時に XML レポートの名前を **migration-report.xml** として指定する方法を表しています。

```
$ MIGRATION_TOOL_HOME/bin/jboss-server-migration.sh --source EAP_PREVIOUS_HOME --target EAP_NEW_HOME -Djboss.server.migration.report.xml.fileName=migration-report.xml
```

コマンドラインで指定された環境プロパティは、ユーザー設定プロパティおよびツール設定プロパティの両方を上書きします。

5.2. JBOSS SERVER MIGRATION TOOL のロギング設定

JBoss Server Migration Tool は JBoss Logging フレームワークを使用して移行の進捗をログに記録します。結果はコンソールに書き込まれるだけでなく、**MIGRATION_TOOL_HOME/migration/logs/** ディレクトリーにある **migration.log** という名前のファイルにも書き込まれます。このログファイルが存在しない場合は作成され、ツールの後続の実行ごとにコンテンツが上書きされます。

ロギング設定は、**MIGRATION_TOOL_HOME/migration/logging.properties** ファイルによって提供されます。この設定ファイルは修正することができます。あるいは、コマンドラインで **logging.configuration** システムプロパティーを使用して代替のロギング設定ファイルを指定できます。

```
$ MIGRATION_TOOL_HOME/bin/jboss-server-migration.sh --source EAP_PREVIOUS_HOME --
target EAP_NEW_HOME -
Dlogging.configuration=file:EAP_PREVIOUS_HOME/migration/configuration/my-alternate-
logging.properties
```

5.3. モジュール移行の設定

JBoss Server Migration Tool は、モジュールがターゲットサーバーにすでにインストールされていない限り、ソースサーバーにインストールされているモジュールを移行することができます。モジュールの移行はリクエストによって明示的または暗黙的に行うことができます。これは、他のモジュールや移行されたサーバー設定はそれに依存するためです。

5.3.1. モジュール環境プロパティー

モジュールは **modules.includes** および **modules.excludes** 環境プロパティーを使用して移行するかどうかを制御できます。モジュール ID の構文は **name:slot** です。:slot は任意です。指定されない場合はデフォルトで **main** に設定されます。

- ID が **modules.excludes** 環境プロパティーによって参照されるモジュールは移行されません。
- ID が **modules.includes** 環境プロパティーで参照されるモジュールは、**modules.excludes** 環境プロパティーによって参照されない限り常に移行されます。

5.3.2. モジュールプロパティーの設定

モジュールの移行に使用する環境プロパティーは、以下のいずれかの方法で設定できます。

- ツールの **MIGRATION_TOOL_HOME/migration/configuration/environment.properties** ファイルでプロパティーを設定できます。

```
modules.includes=com.example.moduleA,com.example.moduleB
modules.excludes=com.example.moduleC
```

- 独自のカスタムプロパティーファイルに上記のプロパティーを追加してから、**--environment** 引数を使用してコマンドラインでプロパティーファイル名を渡すことができます。

```
$ MIGRATION_TOOL_HOME/bin/jboss-server-migration.sh --source
EAP_PREVIOUS_HOME --target EAP_NEW_HOME --environment
PATH_TO_MY_PROPERTIES_FILE
```

- システムプロパティを使用して、コマンドラインで情報を渡すことができます。環境プロパティ名には、**jboss.server.migration.** を接頭辞に指定する必要があります。

```
$ MIGRATION_TOOL_HOME/bin/jboss-server-migration.sh --source
EAP_PREVIOUS_HOME --target EAP_NEW_HOME -
Djboss.server.migration.modules.includes="com.example.moduleA" -
Djboss.server.migration.modules.excludes="com.example.moduleC,com.example.moduleD"
```



警告

JBoss Server Migration Tool は、ソースモジュールがターゲットサーバーと互換性のあることを確認しません。互換性のない移行モジュールにより、ターゲットサーバーが誤作動したり、全く機能しなくなることがあります。モジュールは、ソースサーバーとターゲットサーバーの両方にインストールされるモジュールの依存関係が原因で互換性がない可能性があります。ただし、各サーバーに異なるリソースを含めたり、公開したりすることができます。

5.4. JBOSS SERVER MIGRATION TOOL のレポート設定

JBoss Server Migration Tool には次のレポートを設定できます。

- Task Summary ログ
- HTML レポート
- XML レポート

5.4.1. Task Summary ログの設定

以下の環境プロパティを使用すると、Task Summary の生成をカスタマイズできます。

表5.1 Task Summary の環境プロパティ

プロパティ名	型	プロパティの説明とデフォルト値
report.summary.maxTaskPathSizeToDisplaySubtasks	Integer	指定した整数より低いレベル、または等しいレベルでは、移行済みサブタスクを要約します。 デフォルトは 5 です。

5.4.2. HTML レポートの設定

以下の環境プロパティを使用すると、HTML レポートをカスタマイズできます。

表5.2 HTML レポートの環境プロパティ

プロパティ名	型	プロパティの説明とデフォルト値
report.html.fileName	String	HTML レポートファイルの名前設定されていない場合、レポートは生成されません。 デフォルトは MIGRATION_TOOL_HOME/reports/migration-report.html です。
report.html.maxTaskPathSizeToDisplaySubtasks	Integer	指定した整数より低いレベル、または等しいレベルでは、移行済みサブタスクを要約します。 デフォルトは 4 です。
report.html.templateFileName	String	HTML レポートテンプレートファイル名。 デフォルトは migration-report-template.html に設定されます。

5.4.3. XML レポートの設定

以下の環境プロパティを使用して XML レポートをカスタマイズできます。

表5.3 XML レポートの環境プロパティ

プロパティ名	型	プロパティの説明とデフォルト値
report.xml.fileName	String	XML レポートファイルの名前。設定されていない場合、レポートは生成されません。 デフォルトは MIGRATION_TOOL_HOME/reports/migration-report.xml です。

5.5. スタンドアロンサーバー設定の移行の設定

JBoss Server Migration Tool は、スタンドアロンサーバーを完全に移行しないようにしたり、移行する設定ファイル名を指定したり、またはソースまたはターゲットサーバーのベースおよび設定ディレクトリーの代替パスを提供したりするように設定することができます。

以下の環境プロパティを使用して、スタンドアロンサーバー設定の移行をカスタマイズできます。

表5.4 スタンドアロンサーバー移行の環境プロパティ

プロパティ名	プロパティの説明
standalone.skip	true に設定すると、このツールはスタンドアロンサーバーの移行全体をスキップします。

プロパティ名	プロパティの説明
server.source.standalone.serverDir	ソースサーバーのスタンドアロンディレクトリーの代替パスを定義します。デフォルトはソースサーバーの EAP_NEW_HOME/standalone/ ディレクトリーです。
server.source.standalone.configDir	ソースサーバーのスタンドアロン設定ディレクトリーの代替パスを定義します。デフォルトはソースサーバーの EAP_NEW_HOME/standalone/configuration/ ディレクトリーです。
server.source.standalone.configFiles	移行するソースサーバーのスタンドアロン設定のコンマ区切りのリスト
server.target.standalone.serverDir	ターゲットサーバーのスタンドアロンディレクトリーの代替パスを定義します。デフォルトはターゲットサーバーの EAP_NEW_HOME/standalone/ ディレクトリーです。
server.target.standalone.configDir	ターゲットサーバーのスタンドアロン設定ディレクトリーの代替パスを定義します。デフォルトはターゲットサーバーの EAP_NEW_HOME/standalone/configuration/ ディレクトリーです。

関連情報

- これらのプロパティを使用して JBoss Server Migration Tool を設定する方法については、[JBoss Server Migration Tool の設定](#) を参照してください。

5.6. マネージドドメイン設定の移行の設定

JBoss Server Migration Tool は、マネージドドメインを完全に移行しないようにしたり、移行する設定ファイル名を指定したり、またはソースまたはターゲットサーバーのベースおよび設定ディレクトリーの代替パスを提供したりするように設定することができます。

以下の環境プロパティを使用して、マネージドドメイン設定の移行をカスタマイズできます。

表5.5 マネージドドメイン移行の環境プロパティ

プロパティ名	プロパティの説明
domain.skip	true に設定すると、このツールはマネージドドメインの移行全体をスキップします。
server.source.domain.domainDir	ソースサーバーのマネージドドメインディレクトリーの代替パスを定義します。デフォルトはソースサーバーの EAP_NEW_HOME/domain/ ディレクトリーです。

プロパティ名	プロパティの説明
server.source.domain.configDir	ソースサーバーのマネージドドメイン設定ディレクトリーの代替パスを定義します。デフォルトはソースサーバーの EAP_NEW_HOME/domain/configuration/ ディレクトリーです。
server.source.domain.domainConfigFiles	移行するソースサーバーのマネージドドメイン設定のコンマ区切りのリスト。
server.source.domain.hostConfigFiles	移行されるソースサーバーのホスト設定ファイルのコンマ区切りのリスト。
server.target.domain.domainDir	ターゲットサーバーのマネージドドメインディレクトリーの代替パスを定義します。デフォルトはターゲットサーバーの EAP_NEW_HOME/domain/configuration/ ディレクトリーです。
server.target.domain.configDir	ターゲットサーバーのマネージドドメイン設定ディレクトリーの代替パスを定義します。デフォルトはターゲットサーバーの EAP_NEW_HOME/domain/configuration/ ディレクトリーです。

関連情報

- これらのプロパティを使用して JBoss Server Migration Tool を設定する方法については、[JBoss Server Migration Tool の設定](#) を参照してください。

5.7. JBOSS SERVER MIGRATION TOOL が実行する移行タスクの設定

デフォルトでは、JBoss Server Migration Tool は、移行する各スタンドアロンサーバー、マネージドドメイン、およびホスト設定のすべてのコンポーネントおよびサブシステムを自動的に移行します。環境プロパティを使用することで、ツールで実行される特定のタスクおよびサブの実行をカスタマイズできます。たとえば、サポート対象外のサブシステムの削除を省略したり、デプロイメントの移行を省略したりするようにツールを設定できます。ツールによって実行されるタスクは、サーバー設定の種類と、移行するソースサーバーのバージョンによって異なります。

JBoss Server Migration Tool が実行するタスクをカスタマイズする環境プロパティを設定する方法は、以下のセクションを参照してください。

第6章 JBOSS EAP 6.4 設定の JBOSS EAP 8.0 への移行

JBoss EAP 6.4 設定を JBoss EAP 8.0 に移行する手順が更新されました。まず JBoss EAP 6.4 設定を JBoss EAP 7.4 の最新の CP バージョンに移行してから、JBoss EAP 8.0 に移行する必要があります。

- JBoss EAP 6.4 設定を JBoss EAP 7.4 に移行するには、[JBoss Server Migration Tool を使用したサーバー設定の移行](#) を参照してください。
- JBoss EAP 7.x 設定を JBoss EAP 8.0 に移行するには、[JBoss EAP 7.x 設定の JBoss EAP 8.0 への移行](#) を参照してください。

第7章 JBOSS EAP 7.X 設定の JBOSS EAP 8.0 への移行

7.1. JBOSS EAP 7.X スタンドアロンサーバーの JBOSS EAP 8.0 への移行

JBoss Server Migration Tool は、デフォルトで、スタンドアロンサーバー設定を JBoss EAP x から JBoss EAP 8.0 に移行するときに以下のタスクを実行します。

7.1.1. JBoss ドメインプロパティの移行

ドメイン関連のプロパティ名の **master** と **slave** という単語は、'primary' と 'secondary' という単語に置き換えられました。この古いプロパティ名が使用されている場合、移行時に自動で修正されます。

コンソールには、移行によって名前が変更されたプロパティが記録されます。

```
INFO JBoss domain property jboss.domain.master.address migrated to
jboss.domain.primary.address
INFO JBoss domain property jboss.domain.master.port migrated to jboss.domain.primary.port
INFO JBoss domain property jboss.domain.master.protocol migrated to
jboss.domain.primary.protocol
```

プロパティの名前が正常に変更されると、次のメッセージが表示されます。

```
INFO JBoss domain properties migrated.
```

7.1.2. サポート対象外のサブシステムの削除

JBoss Server Migration Tool は、サポート対象外のすべてのサブシステム設定と拡張機能を、移行されたサーバー設定から削除します。このツールは各サブシステムとそれらの拡張をログファイルに記録し、削除時にコンソールに記録します。



注記

JBoss EAP 7.x でサポートされていないにもかかわらず、管理者がサーバーに追加したサブシステムは、JBoss EAP 8.0 でもサポートされず、削除されます。

サポート対象外のサブシステムの削除を省略するには、**subsystems.remove-unsupported-subsystems.skip** プロパティを **true** に設定します。

JBoss Server Migration Tool のデフォルト動作を上書きし、以下の環境プロパティを使用して移行中に含まれるサブシステムと拡張機能を指定することができます。

表7.1 サーバー移行の環境プロパティ

プロパティ名	プロパティの説明
extensions.excludes	決して移行すべきでない拡張機能のモジュール名のリスト (例: com.example.extension1 、 com.example.extension3) 。

プロパティ名	プロパティの説明
extensions.includes	常に移行する必要がある拡張機能のモジュール名のリスト (例: com.example.extension2 、 com.example.extension4) 。
subsystems.excludes	決して移行すべきでないサブシステムの名前空間 (バージョンを除いたもの) のリスト (例: urn:jboss:domain:logging 、 urn:jboss:domain:ejb3)。
subsystems.includes	常に移行すべきサブシステムの名前空間 (バージョンを除いたもの) のリスト (例: urn:jboss:domain:security 、 urn:jboss:domain:ee)。

7.1.3. スタンドアロンサーバーの参照モジュールの移行

ソースサーバーからターゲットサーバーに移行される設定が、ターゲットサーバーにインストールされていないモジュールを参照したり、これに依存する可能性があります。JBoss Server Migration Tool はこれを検知し、参照されるモジュールと、その依存関係モジュールをソースサーバーからターゲットサーバーに自動的に移行します。

スタンドアロンサーバー設定で参照されるモジュールは、以下のプロセスを使用して移行されます。

- **datasource** サブシステム設定によって参照されるモジュールは、データソースドライバーモジュールとして移行されます。
- **ee** サブシステム設定によって参照されるモジュールはグローバルモジュールとして移行されません。
- **naming** サブシステム設定によって参照されるモジュールは、オブジェクトファクトリーモジュールとして移行されます。
- **messaging** サブシステム設定によって参照されるモジュールは、Jakarta Messaging ブリッジモジュールとして移行されます。
- ターゲット設定にインストールされていないエクステンションは、ターゲットサーバー設定に移行されます。

コンソールは、移行されるモジュールのモジュール ID を示すメッセージをログに記録します。 **modules.excludes** 環境プロパティにモジュール ID を指定して、特定モジュールの移行を除外できます。

7.1.4. スタンドアロンサーバーの参照パスの移行

ソースサーバーからターゲットサーバーへの移行される設定は、ターゲットサーバーにも移行する必要があるファイルパスとディレクトリを参照したり、これらに依存する可能性があります。JBoss Server Migration Tool は絶対パス参照を移行しません。ソース設定との関連として設定されるファイルやディレクトリのみを移行します。コンソールは、移行される各パスを示すメッセージをログに記録します。

7.1.5. レガシーセキュリティーレールの移行

JBoss EAP 8 はレガシーセキュリティーレルムフレームワークをサポートしません。JBoss Server Migration Tool は、デフォルトの JBoss EAP 8 Elytron を代わりに使用するよう設定を移行します。

デフォルトのレガシーセキュリティーレルムを使用していなかった場合は、Elytron を手動で設定する必要がある場合があります。

コンソールには、デフォルトの JBoss EAP 8 Elytron に移行した設定リソースが記録されます。

```
INFO Legacy security XML configuration retrieved.
WARN Migrated Remoting subsystem's http connector resource /subsystem/remoting/http-connector/http-remoting-connector using a legacy security-realm, to Elytron's default application SASL Authentication Factory migration-defaultApplicationSaslAuthenticationFactory. Please note that further manual Elytron configuration may be needed if the legacy security realm being used was not the source server's default Application Realm configuration!
WARN Migrated Undertow subsystem https-listener resource /subsystem/undertow/server/default-server/https-listener/https using a legacy security-realm, to Elytron's default TLS ServerSSLContext migration-defaultTLSServerSSLContext. Please note that further manual Elytron configuration may be needed if the legacy security realm being used was not the source server's default Application Realm configuration!
WARN Migrated Undertow subsystem http-invoker resource /subsystem/undertow/server/default-server/host/default-host/setting/http-invoker using a legacy security-realm, to Elytron's default Application HTTP AuthenticationFactory migration-defaultApplicationHttpAuthenticationFactory. Please note that further manual Elytron configuration may be needed if the legacy security realm being used was not the source server's default Application Realm configuration!
INFO Legacy security realms migrated to Elytron.
```

7.1.6. レガシーセキュリティードメインの移行

JBoss EAP 8 はレガシーセキュリティードメインフレームワークをサポートしません。JBoss Server Migration Tool は、デフォルトの JBoss EAP 8 Elytron を代わりに使用するよう設定を移行します。

デフォルトのレガシーセキュリティードメインを使用していなかった場合は、Elytron を手動で設定する必要がある場合があります。

コンソールには、デフォルトの JBoss EAP 8 Elytron に移行したすべての設定リソースが記録されます。

```
WARN Migrated ejb3 subsystem resource /subsystem/ejb3/application-security-domain/other using legacy security domain other, to Elytron's default application Security Domain. Please note that further manual Elytron configuration may be needed if the legacy security domain being used was not the source server's default Application Domain configuration!
WARN Migrated undertow subsystem resource /subsystem/undertow/application-security-domain/other using legacy security domain other, to Elytron's default application Security Domain. Please note that further manual Elytron configuration may be needed if the legacy security domain being used was not the source server's default Application Domain configuration!
```

7.1.7. keycloak サブシステムの移行

keycloak サブシステムは、JBoss EAP 8 ではサポートされず、**elytron-oidc-client** サブシステムに置き換えられます。

JBoss Server Migration Tool は、デフォルトでレガシーサブシステム設定を自動的に移行します。この移行タスクをスキップするには、**subsystem.keycloak.merge.skip** 環境プロパティ値を **true** に設定します。

レガシーサブシステムの移行は、ユーザーの介入なしで実行されます。

レガシー **keycloak** サブシステムの移行が完了すると、移行コンソールに次のメッセージが表示されます。

```
INFO Subsystem keycloak migrated.
```

移行中に問題が発生した場合、その問題はログファイルに書き込まれ、移行コンソールに表示されません。

7.1.8. picketlink-federation サブシステムの移行

picketlink-federation サブシステムは、JBoss EAP 8 で非推奨となり、**keycloak-saml** サブシステムに置き換えられました。

JBoss Server Migration Tool は、デフォルトでレガシーサブシステム設定を自動的に移行します。この移行タスクをスキップするには、**subsystem.picketlink-federation.payment.skip** 環境プロパティ値を **true** に設定します。

レガシーサブシステムの移行は、ユーザーの介入なしで実行されます。

レガシーサブシステムの移行は、次の理由により失敗する可能性があります。

- ターゲットサーバーに Keycloak クライアント SAML アダプターがないため、レガシー **picketlink-federation** サブシステムを **keycloak-saml** サブシステムに移行できない。
- 手動で移行する必要がある、空ではないレガシー **picketlink-federation** サブシステム設定。

レガシー **picketlink-federation** サブシステムの移行が完了すると、移行コンソールに次のメッセージが表示されます。

```
INFO Subsystem picketlink-federation migrated.
```

移行中に問題が発生した場合、その問題はログファイルに書き込まれ、移行コンソールに表示されません。

詳細は、[移行ガイド](#) を参照してください。

7.1.9. jgroups サブシステム設定の更新

JBoss Server Migration Tool は、**jgroups** サブシステム設定を自動的に移行しません。JBoss Server Migration Tool は、この設定をデフォルトの JBoss EAP 8 **jgroups** 設定に戻します。

デフォルトの JBoss EAP 8 **jgroups** サブシステム設定を使用していなかった場合は、**jgroups** サブシステム設定を手動で設定する必要がある場合があります。

jgroups サブシステム設定が更新されると、コンソールにメッセージが記録されます。

```
WARN Configuration of JGroups protocols has been changed to match the default protocols of the target server. Please note that further manual configuration may be needed if the legacy configuration being used was not the source server's default configuration!
```

7.1.10. スタンドアロンサーバーの health サブシステムの追加

JBoss EAP 8.0 の **health** サブシステムは、サーバーの健全性機能のサポートを提供します。JBoss Server Migration Tool は、デフォルトの **health** サブシステム設定を移行された設定ファイルに自動的に追加します。

health サブシステム設定の追加をスキップするには、**subsystem.health.add.skip** 環境プロパティを **true** に設定します。

health サブシステムを JBoss EAP 8.0 に追加すると、Web コンソールに次のメッセージが表示されません。

```
INFO Subsystem health added.
```

7.1.11. スタンドアロンサーバーの **metrics** サブシステムの追加

JBoss EAP 8.0 の **metrics** サブシステムは、サーバーのメトリクス機能のサポートを提供します。JBoss Server Migration Tool は、デフォルトの **metrics** サブシステム設定を移行された設定ファイルに自動的に追加します。

metrics サブシステム設定の追加を省略するには、**subsystem.metrics.add.skip** 環境プロパティを **true** に設定します。

metrics サブシステムを JBoss EAP 8.0 に追加すると、Web コンソールに次のメッセージが表示されません。

```
INFO Subsystem metrics added.
```

7.1.12. スタンドアロンサーバーのデプロイメントの移行

JBoss Server Migration Tool は、次に示すタイプのスタンドアロンサーバーのデプロイメント設定を移行できます。

- サーバーが参照するデプロイメント。これは **永続的なデプロイメント** とも呼ばれます。
- **デプロイメントスキャナー** の監視対象ディレクトリーにあるデプロイメント。
- サーバーが参照する **デプロイメントオーバーレイ**。

デプロイメントの移行は、ターゲットサーバーへの関連ファイルリソースのインストールと、移行した設定の更新から成ります。

JBoss Server Migration Tool は、非対話モードで実行するとデフォルトでデプロイメントを省略するように事前設定されています。デプロイメントの移行を有効にするには、**deployments.migrate-deployments.skip** 環境プロパティを **false** に設定します。

重要

JBoss Server Migration Tool を対話モードで実行し、無効な入力を入力した場合、その結果の動作は、**deployments.merge-deployments** 環境プロパティの値に依存することに注意してください。

- **deployments.migrate-deployments.skip** を **false** に設定し、無効な入力を入力すると、このツールはデプロイメントの移行を試行します。
- **deployments.migrate-deployments.skip** が **true** に設定され、無効な入力を入力すると、このツールはデプロイメントの移行を省略します。



警告

JBoss Server Migration Tool は、デプロイされたリソースがターゲットサーバーと互換性があるかどうかを判別しません。つまり、アプリケーションやリソースはデプロイされない可能性があり、期待通りに機能しないか、全く機能しない可能性があります。また、JBoss EAP 7.3 *-**jms.xml** 設定ファイルなどのアーティファクトは、変更なしでコピーされるため、JBoss EAP サーバーの起動時にエラーが発生する可能性があることにも注意してください。

Red Hat は、Migration Toolkit for Runtimes (MTR) を使用してデプロイメントを分析し、異なる JBoss EAP サーバー間の互換性を確認することを推奨します。詳細は、[Migration Toolkit for Runtimes の製品ドキュメント](#) を参照してください。

7.1.12.1. スタンドアロンサーバーの永続的なデプロイメントの移行

非対話モードでの実行時に永続的なデプロイメントを移行できるようにするには、**deployments.migrate-persistent-deployments.skip** 環境プロパティを **false** に設定します。

JBoss Server Migration Tool は、すべての永続的なデプロイメント参照を検索し、それらをコンソールにリスト表示します。

```
INFO [ServerMigrationTask#67] Persistent deployments found: [cmtool-helloworld3.war, cmtool-helloworld4.war, cmtool-helloworld2.war, cmtool-helloworld1.war]
```

その後の処理ワークフローは、以下で説明するように、**対話モード** または **非対話モード** でツールを実行しているかどうかによって異なります。

非対話モードでの永続的なデプロイメントの移行

非対話モードでツールを実行する場合、このツールは事前設定されたプロパティを使用して、永続的なデプロイメントを移行するかどうかを決定します。永続的なデプロイメントは、**deployments.migrate-deployments.skip** および **deployments.migrate-persistent-deployments.skip** プロパティが両方とも **false** に設定されている場合にのみ移行されます。

対話モードでの永続的なデプロイメントの移行

JBoss Server Migration Tool を対話モードで実行すると、次のワークフローに従ってデプロイメントごとにプロンプトが表示されます。

1. 永続的なデプロイメントが検出されてコンソールに出力されると、次のプロンプトが表示されます。

```
This tool is not able to assert if persistent deployments found are compatible with the target server, skip persistent deployments migration?
yes/no?
```

- 永続的なデプロイメントの移行を省略する場合は、**yes** で応答します。すべてのデプロイメント参照は移行された設定から削除され、移行プロセスが終了します。
- 移行を続行するには、**no** と応答します。

2. 続行する場合は、以下のプロンプトが表示されます。

```
Migrate all persistent deployments found?
yes/no?
```

- 移行プロセスですべてのデプロイメントを自動的に移行し、終了させる場合は **yes** で応答します。
- 移行を続行するには、**no** と応答します。

3. 続行する場合には、参照される各デプロイメントの移行を確認するプロンプトが表示されま

```
Migrate persistent deployment 'helloworld01.war'?
yes/no?
```

- デプロイメントを移行するには **yes** で応答します。
- 移行した設定からデプロイメントを削除するには、**no** で応答します。

```
INFO [ServerMigrationTask#68] Removed persistent deployment from configuration
/deployment=helloworld01.war
```

7.1.12.2. スタンドアロンサーバーのデプロイメントスキャナーのデプロイメントを移行する

スタンドアロンサーバー設定のみで使用されるデプロイメントスキャナーは、新規ファイルのディレクトリーを監視します。また、デプロイメントを自動的に管理したり、特別なデプロイメントマーカーファイルを介して管理します。

非対話モードで実行時にデプロイメントスキャナーによって監視されるディレクトリーにあるデプロイメントの移行を有効にするには、**deployments.migrate-deployment-scanner-deployments.skip** 環境プロパティを **false** に設定します。

スタンドアロンサーバー設定を移行する場合、JBoss Server Migration Tool は最初に設定済みのデプロイメントスキャナーを検索します。見つかった各スキャナーに対して、監視されるディレクトリーで、デプロイ済みとマークされているデプロイメントを検索し、結果をコンソールに出力します。

その後の処理ワークフローは、以下で説明するように、対話モードまたは非対話モードでツールを実行しているかどうかによって異なります。

非対話モードでデプロイメントスキャナーのデプロイメントを移行する

非対話モードでツールを実行する場合、このツールは事前設定されたプロパティを使用してデプロイメントスキャナーのデプロイメントを移行するかどうかを決定します。デプロイメントスキャナーは、**deployments.migrate-deployments.skip** および **deployments.migrate-deployment-scanner-deployments.skip** プロパティが両方とも **false** に設定されている場合にのみ移行されます。

対話モードでデプロイメントスキャナーのデプロイメントを移行する

JBoss Server Migration Tool を対話モードで実行すると、次のワークフローに従ってデプロイメントごとにプロンプトが表示されます。

1. スキャナーデプロイメントが検出されてコンソールに出力されると、次のプロンプトが表示されます。

This tool is not able to assert if the scanner's deployments found are compatible with the target server, skip scanner's deployments migration?
yes/no?

- デプロイメントスキャナーのデプロイメントの移行をスキップするには、**yes** と応答します。すべてのデプロイメント参照は移行された設定から削除され、移行プロセスが終了します。
- 移行を続行するには、**no** と応答します。

2. 続行する場合は、以下のプロンプトが表示されます。

Migrate all scanner's deployments found?
yes/no?

- 移行プロセスですべてのデプロイメントを自動的に移行し、終了させる場合は **yes** で応答します。
- 移行を続行するには、**no** と応答します。

3. 続行する場合には、参照される各デプロイメントの移行を確認するプロンプトが表示されません。

Migrate scanner's deployment 'helloworld02.war'?
yes/no?

- デプロイメントを移行するには **yes** で応答します。
- 移行した設定からデプロイメントを削除するには、**no** で応答します。

```
INFO [ServerMigrationTask#69] Resource with path
EAP_NEW_HOME/standalone/deployments/helloworld02.war migrated.
```

7.1.12.3. スタンドアロンサーバーのデプロイメントオーバーレイの移行

デプロイメントオーバーレイの移行は、完全に自動化されたプロセスです。**deployments.migrate-deployments.skip** 環境プロパティを **false** に設定してデプロイメントの移行を有効にしている場合、JBoss Server Migration Tool は移行されたデプロイメントにリンクされているスタンドアロンサーバー設定で参照されるデプロイメントオーバーレイを検索します。見つかったものを自動的に移行し、参照されていないものを削除して、結果をそのログファイルおよびコンソールに記録します。

7.2. JBOSS EAP 7.X マネージドドメインの JBOSS EAP 8.0 への移行



警告

JBoss Server Migration Tool を使用する場合は、ホストを移行する前にドメインコントローラーを移行して、ドメインコントローラーが使用する JBoss EAP のバージョンが、ホストが使用するバージョンよりも新しいことを確認してください。たとえば、JBoss EAP 7 で実行されているドメインコントローラーは、JBoss EAP 8.0 で実行されているホストを処理できません。

JBoss Server Migration Tool は、デフォルトで、マネージドドメイン設定を JBoss EAP 7 から JBoss EAP 8.0 に移行するときに次のタスクを実行します。

7.2.1. JBoss ドメインプロパティの移行

ドメイン関連のプロパティ名の **master** と **slave** という単語は、'primary' と 'secondary' という単語に置き換えられました。この古いプロパティ名が使用されている場合、移行時に自動で修正されます。

コンソールには、移行によって名前が変更されたプロパティが記録されます。

```
INFO JBoss domain property jboss.domain.master.address migrated to
jboss.domain.primary.address
INFO JBoss domain property jboss.domain.master.port migrated to jboss.domain.primary.port
INFO JBoss domain property jboss.domain.master.protocol migrated to
jboss.domain.primary.protocol
```

プロパティの名前が正常に変更されると、次のメッセージが表示されます。

```
INFO JBoss domain properties migrated.
```

7.2.2. サポート対象外のサブシステムの削除

JBoss Server Migration Tool は、サポート対象外のすべてのサブシステム設定と拡張機能を、移行されたサーバー設定から削除します。このツールは各サブシステムとそれらの拡張をログファイルに記録し、削除時にコンソールに記録します。



注記

JBoss EAP 7.x でサポートされていないにもかかわらず、管理者がサーバーに追加したサブシステムは、JBoss EAP 8.0 でもサポートされず、削除されます。

サポート対象外のサブシステムの削除を省略するには、**subsystems.remove-unsupported-subsystems.skip** プロパティを **true** に設定します。

JBoss Server Migration Tool のデフォルト動作を上書きし、以下の環境プロパティを使用して移行中に含まれるサブシステムと拡張機能を指定することができます。

表7.2 サーバー移行の環境プロパティ

プロパティ名	プロパティの説明
extensions.excludes	決して移行すべきでない拡張機能のモジュール名のリスト (例: com.example.extension1 、 com.example.extension3) 。
extensions.includes	常に移行する必要がある拡張機能のモジュール名のリスト (例: com.example.extension2 、 com.example.extension4) 。
subsystems.excludes	決して移行すべきでないサブシステムの名前空間 (バージョンを除いたもの) のリスト (例: urn:jboss:domain:logging 、 urn:jboss:domain:ejb3)。
subsystems.includes	常に移行すべきサブシステムの名前空間 (バージョンを除いたもの) のリスト (例: urn:jboss:domain:security 、 urn:jboss:domain:ee)。

7.2.3. マネージドドメインの参照モジュールの移行

ソースサーバーからターゲットサーバーに移行される設定が、ターゲットサーバーにインストールされていないモジュールを参照したり、これに依存する可能性があります。JBoss Server Migration Tool はこれを検知し、参照されるモジュールと、その依存関係モジュールをソースサーバーからターゲットサーバーに自動的に移行します。

マネージドドメイン設定で参照されるモジュールは、以下のプロセスを使用して移行されます。

- **datasource** サブシステム設定によって参照されるモジュールは、データソースドライバーモジュールとして移行されます。
- **ee** サブシステム設定によって参照されるモジュールはグローバルモジュールとして移行されます。
- **naming** サブシステム設定によって参照されるモジュールは、オブジェクトファクトリーモジュールとして移行されます。
- **messaging** サブシステム設定によって参照されるモジュールは、Jakarta Messaging ブリッジモジュールとして移行されます。
- ターゲット設定にインストールされていないエクステンションは、ターゲットサーバー設定に移行されます。

コンソールは、移行されるモジュールのモジュール ID を示すメッセージをログに記録します。**modules.excludes** 環境プロパティにモジュール ID を指定して、特定モジュールの移行を除外できます。

7.2.4. マネージドドメインの参照パスの移行

ソースサーバーからターゲットサーバーへの移行される設定は、ターゲットサーバーにも移行する必要があるファイルパスとディレクトリーを参照したり、これらに依存する可能性があります。JBoss Server Migration Tool は、絶対パス参照を移行しません。ソース設定との関連として設定されるファイルやディレクトリーのみを移行します。コンソールは、移行される各パスを示すメッセージをログに記録します。

7.2.5. レガシーセキュリティーレルムの移行

JBoss EAP 8 はレガシーセキュリティーレルムフレームワークをサポートしません。JBoss Server Migration Tool は、デフォルトの JBoss EAP 8 Elytron を代わりに使用するよう設定を移行します。

デフォルトのレガシーセキュリティードメインを使用していない場合は、Elytron を手動で設定する必要がある場合があります。

コンソールには、デフォルトの JBoss EAP 8 Elytron に移行した設定リソースが記録されます。

```

INFO Legacy security XML configuration retrieved.
WARN Migrated Remoting subsystem's http connector resource /profile/full-
ha/subsystem/remoting/http-connector/http-remoting-connector using a legacy security-realm, to
Elytron's default application SASL Authentication Factory migration-
defaultApplicationSaslAuthenticationFactory. Please note that further manual Elytron configuration
may be needed if the legacy security realm being used was not the source server's default
Application Realm configuration!
WARN Migrated Undertow subsystem https-listener resource /profile/full-
ha/subsystem/undertow/server/default-server/https-listener/https using a legacy security-realm, to
Elytron's default TLS ServerSSLContext migration-defaultTLSServerSSLContext. Please note that
further manual Elytron configuration may be needed if the legacy security realm being used was not
the source server's default Application Realm configuration!
WARN Migrated Undertow subsystem http-invoker resource /profile/full-
ha/subsystem/undertow/server/default-server/host/default-host/setting/http-invoker using a legacy
security-realm, to Elytron's default Application HTTP AuthenticationFactory migration-
defaultApplicationHttpAuthenticationFactory. Please note that further manual Elytron configuration
may be needed if the legacy security realm being used was not the source server's default
Application Realm configuration!
INFO Legacy security realms migrated to Elytron.
WARN Migrated Remoting subsystem's http connector resource
/profile/full/subsystem/remoting/http-connector/http-remoting-connector using a legacy security-realm,
to Elytron's default application SASL Authentication Factory migration-
defaultApplicationSaslAuthenticationFactory. Please note that further manual Elytron configuration
may be needed if the legacy security realm being used was not the source server's default
Application Realm configuration!
WARN Migrated Undertow subsystem https-listener resource
/profile/full/subsystem/undertow/server/default-server/https-listener/https using a legacy security-
realm, to Elytron's default TLS ServerSSLContext migration-defaultTLSServerSSLContext. Please
note that further manual Elytron configuration may be needed if the legacy security realm being used
was not the source server's default Application Realm configuration!
WARN Migrated Undertow subsystem http-invoker resource
/profile/full/subsystem/undertow/server/default-server/host/default-host/setting/http-invoker using a
legacy security-realm, to Elytron's default Application HTTP AuthenticationFactory migration-
defaultApplicationHttpAuthenticationFactory. Please note that further manual Elytron configuration
may be needed if the legacy security realm being used was not the source server's default
Application Realm configuration!
INFO Legacy security realms migrated to Elytron.
WARN Migrated Remoting subsystem's http connector resource
/profile/ha/subsystem/remoting/http-connector/http-remoting-connector using a legacy security-realm,
to Elytron's default application SASL Authentication Factory migration-
defaultApplicationSaslAuthenticationFactory. Please note that further manual Elytron configuration
may be needed if the legacy security realm being used was not the source server's default
Application Realm configuration!
WARN Migrated Undertow subsystem https-listener resource
/profile/ha/subsystem/undertow/server/default-server/https-listener/https using a legacy security-
realm, to Elytron's default TLS ServerSSLContext migration-defaultTLSServerSSLContext. Please

```

note that further manual Elytron configuration may be needed if the legacy security realm being used was not the source server's default Application Realm configuration!

WARN Migrated Undertow subsystem http-invoker resource /profile/ha/subsystem/undertow/server/default-server/host/default-host/setting/http-invoker using a legacy security-realm, to Elytron's default Application HTTP AuthenticationFactory migration-defaultApplicationHttpAuthenticationFactory. Please note that further manual Elytron configuration may be needed if the legacy security realm being used was not the source server's default Application Realm configuration!

INFO Legacy security realms migrated to Elytron.

WARN Migrated Remoting subsystem's http connector resource /profile/default/subsystem/remoting/http-connector/http-remoting-connector using a legacy security-realm, to Elytron's default application SASL Authentication Factory migration-defaultApplicationSaslAuthenticationFactory. Please note that further manual Elytron configuration may be needed if the legacy security realm being used was not the source server's default Application Realm configuration!

WARN Migrated Undertow subsystem https-listener resource /profile/default/subsystem/undertow/server/default-server/https-listener/https using a legacy security-realm, to Elytron's default TLS ServerSSLContext migration-defaultTLSServerSSLContext. Please note that further manual Elytron configuration may be needed if the legacy security realm being used was not the source server's default Application Realm configuration!

WARN Migrated Undertow subsystem http-invoker resource /profile/default/subsystem/undertow/server/default-server/host/default-host/setting/http-invoker using a legacy security-realm, to Elytron's default Application HTTP AuthenticationFactory migration-defaultApplicationHttpAuthenticationFactory. Please note that further manual Elytron configuration may be needed if the legacy security realm being used was not the source server's default Application Realm configuration!

INFO Legacy security realms migrated to Elytron.

7.2.6. レガシーセキュリティードメインの移行

JBoss EAP 8 はレガシーセキュリティードメインフレームワークをサポートしません。JBoss Server Migration Tool は、デフォルトの JBoss EAP 8 Elytron を代わりに使用するよう設定を移行します。

デフォルトのレガシーセキュリティードメインを使用していなかった場合は、Elytron を手動で設定する必要がある場合があります。

コンソールには、デフォルトの JBoss EAP 8 Elytron に移行したすべての設定リソースが記録されます。

WARN Migrated ejb3 subsystem resource /profile/default/subsystem/ejb3/application-security-domain/other using legacy security domain other, to Elytron's default application Security Domain. Please note that further manual Elytron configuration may be needed if the legacy security domain being used was not the source server's default Application Domain configuration!

WARN Migrated undertow subsystem resource /profile/default/subsystem/undertow/application-security-domain/other using legacy security domain other, to Elytron's default application Security Domain. Please note that further manual Elytron configuration may be needed if the legacy security domain being used was not the source server's default Application Domain configuration!

WARN Migrated ejb3 subsystem resource /profile/full/subsystem/ejb3/application-security-domain/other using legacy security domain other, to Elytron's default application Security Domain. Please note that further manual Elytron configuration may be needed if the legacy security domain being used was not the source server's default Application Domain configuration!

WARN Migrated undertow subsystem resource /profile/full/subsystem/undertow/application-security-domain/other using legacy security domain other, to Elytron's default application Security Domain. Please note that further manual Elytron configuration may be needed if the legacy security domain being used was not the source server's default Application Domain configuration!

WARN Migrated messaging-activemq subsystem server resource /profile/full/subsystem/messaging-activemq/server/default, to Elytron's default application Security Domain. Please note that further manual Elytron configuration may be needed if the legacy security domain being used was not the source server's default Application Domain configuration!

WARN Migrated iiop-openjdk subsystem resource using legacy security domain to Elytron defaults. Please note that further manual Elytron configuration should be needed!

WARN Migrated ejb3 subsystem resource /profile/ha/subsystem/ejb3/application-security-domain/other using legacy security domain other, to Elytron's default application Security Domain. Please note that further manual Elytron configuration may be needed if the legacy security domain being used was not the source server's default Application Domain configuration!

WARN Migrated undertow subsystem resource /profile/ha/subsystem/undertow/application-security-domain/other using legacy security domain other, to Elytron's default application Security Domain. Please note that further manual Elytron configuration may be needed if the legacy security domain being used was not the source server's default Application Domain configuration!

WARN Migrated ejb3 subsystem resource /profile/full-ha/subsystem/ejb3/application-security-domain/other using legacy security domain other, to Elytron's default application Security Domain. Please note that further manual Elytron configuration may be needed if the legacy security domain being used was not the source server's default Application Domain configuration!

WARN Migrated undertow subsystem resource /profile/full-ha/subsystem/undertow/application-security-domain/other using legacy security domain other, to Elytron's default application Security Domain. Please note that further manual Elytron configuration may be needed if the legacy security domain being used was not the source server's default Application Domain configuration!

WARN Migrated messaging-activemq subsystem server resource /profile/full-ha/subsystem/messaging-activemq/server/default, to Elytron's default application Security Domain. Please note that further manual Elytron configuration may be needed if the legacy security domain being used was not the source server's default Application Domain configuration!

WARN Migrated iiop-openjdk subsystem resource using legacy security domain to Elytron defaults. Please note that further manual Elytron configuration should be needed!

7.2.7. keycloak サブシステムの移行

keycloak サブシステムは、JBoss EAP 8 ではサポートされず、**elytron-oidc-client** サブシステムに置き換えられます。

JBoss Server Migration Tool は、デフォルトでレガシーサブシステム設定を自動的に移行します。この移行タスクをスキップするには、**subsystem.keycloak.merge.skip** 環境プロパティ値を **true** に設定します。

レガシーサブシステムの移行は、ユーザーの介入なしで実行されます。

レガシー **keycloak** サブシステムの移行が完了すると、移行コンソールに次のメッセージが表示されます。

```
INFO Subsystem keycloak migrated.
```

移行中に問題が発生した場合、その問題はログファイルに書き込まれ、移行コンソールに表示されません。

7.2.8. picketlink-federation サブシステムの移行

picketlink-federation サブシステムは、JBoss EAP 8 で非推奨となり、**keycloak-saml** サブシステムに置き換えられました。

JBoss Server Migration Tool は、デフォルトでレガシーサブシステム設定を自動的に移行します。この移行タスクをスキップするには、**subsystem.picketlink-federation.payment.skip** 環境プロパティ値を **true** に設定します。

レガシーサブシステムの移行は、ユーザーの介入なしで実行されます。

レガシーサブシステムの移行は、次の理由により失敗する可能性があります。

- ターゲットサーバーに Keycloak クライアント SAML アダプターがないため、レガシー **picketlink-federation** サブシステムを **keycloak-saml** サブシステムに移行できない。
- 手動で移行する必要がある、空ではないレガシー **picketlink-federation** サブシステム設定。

レガシー **picketlink-federation** サブシステムの移行が完了すると、移行コンソールに次のメッセージが表示されます。

```
INFO Subsystem picketlink-federation migrated.
```

移行中に問題が発生した場合、その問題はログファイルに書き込まれ、移行コンソールに表示されません。

詳細は、[移行ガイド](#) を参照してください。

7.2.9. jgroups サブシステム設定の更新

JBoss Server Migration Tool は、**jgroups** サブシステム設定を自動的に移行しません。JBoss Server Migration Tool は、この設定をデフォルトの JBoss EAP 8 **jgroups** 設定に戻します。

デフォルトの JBoss EAP 8 **jgroups** サブシステム設定を使用していなかった場合は、**jgroups** サブシステム設定を手動で設定する必要がある場合があります。

jgroups サブシステム設定が更新されると、コンソールにメッセージが記録されます。

```
WARN Configuration of JGroups protocols has been changed to match the default protocols of the target server. Please note that further manual configuration may be needed if the legacy configuration being used was not the source server's default configuration!
```

7.2.10. マネージドドメイン移行用のホスト除外設定の追加

JBoss EAP 8.0 ドメインコントローラーには、古いバージョンのサーバーで実行されているホストではサポートされていない機能が含まれている可能性があります。**host-exclude** 設定は、これらの旧バージョンから非表示にすべきリソースを指定します。

JBoss Server Migration Tool は、ドメインコントローラー設定を移行する際に、ソースサーバーの **host-exclude** 設定をターゲットの JBoss EAP 8.0 サーバーの設定に追加するか、その設定で置き換えます。

JBoss Server Migration Tool は **host-exclude** サブシステム設定を自動的に更新し、結果をログファイルとコンソールに記録します。

```
INFO Host-excludes configuration added.
```

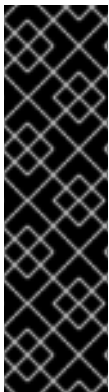
7.2.11. マネージドドメインのデプロイメントの移行

JBoss Server Migration Tool は、次に示すタイプのマネージドドメインのデプロイメント設定を移行できます。

- サーバーが参照するデプロイメント。これは **永続的なデプロイメント** とも呼ばれます。
- サーバーが参照する **デプロイメントオーバーレイ**。

デプロイメントの移行は、ターゲットサーバーへの関連ファイルリソースのインストールと、移行した設定の更新から成ります。

JBoss Server Migration Tool は、非対話モードで実行するとデフォルトでデプロイメントを省略するように事前設定されています。デプロイメントの移行を有効にするには、**deployments.migrate-deployments.skip** 環境プロパティを **false** に設定します。



重要

JBoss Server Migration Tool を対話モードで実行し、無効な入力を入力した場合、その結果の動作は、**deployments.merge-deployments** 環境プロパティの値に依存することに注意してください。

- **deployments.migrate-deployments.skip** を **false** に設定し、無効な入力を入力すると、このツールはデプロイメントの移行を試行します。
- **deployments.migrate-deployments.skip** が **true** に設定され、無効な入力を入力すると、このツールはデプロイメントの移行を省略します。



警告

JBoss Server Migration Tool は、デプロイされたリソースがターゲットサーバーと互換性があるかどうかを判別しません。つまり、アプリケーションやリソースはデプロイされない可能性があり、期待通りに機能しないか、全く機能しない可能性があります。また、JBoss EAP 7.3 *-**jms.xml** 設定ファイルなどのアーティファクトは、変更なしでコピーされるため、JBoss EAP サーバーの起動時にエラーが発生する可能性があることにも注意してください。

Red Hat は、Migration Toolkit for Runtimes (MTR) を使用してデプロイメントを分析し、異なる JBoss EAP サーバー間の互換性を確認することを推奨します。詳細は、[Migration Toolkit for Runtimes の製品ドキュメント](#) を参照してください。

7.2.11.1. マネージドドメインの永続的なデプロイメントの移行

非対話モードでの実行時に永続的なデプロイメントを移行できるようにするには、**deployments.migrate-persistent-deployments.skip** 環境プロパティを **false** に設定します。

JBoss Server Migration Tool は、すべての永続的なデプロイメント参照を検索し、それらをコンソールにリスト表示します。

```
INFO [ServerMigrationTask#67] Persistent deployments found: [cmtool-helloworld3.war, cmtool-helloworld4.war, cmtool-helloworld2.war, cmtool-helloworld1.war]
```


その後の処理ワークフローは、以下で説明するように、**対話モード** または **非対話モード** でツールを実行しているかどうかによって異なります。

非対話モードでの永続的なデプロイメントの移行

非対話モードでツールを実行する場合、このツールは事前設定されたプロパティを使用して、永続的なデプロイメントを移行するかどうかを決定します。永続的なデプロイメントは、**deployments.migrate-deployments.skip** および **deployments.migrate-persistent-deployments.skip** プロパティが両方とも **false** に設定されている場合にのみ移行されます。

対話モードでの永続的なデプロイメントの移行

JBoss Server Migration Tool を対話モードで実行すると、次のワークフローに従ってデプロイメントごとにプロンプトが表示されます。

1. 永続的なデプロイメントが検出されてコンソールに出力されると、次のプロンプトが表示されます。

```
This tool is not able to assert if persistent deployments found are compatible with the target server, skip persistent deployments migration?
yes/no?
```

- 永続的なデプロイメントの移行を省略する場合は、**yes** で応答します。すべてのデプロイメント参照は移行された設定から削除され、移行プロセスが終了します。
 - 移行を続行するには、**no** と応答します。
2. 続行する場合は、以下のプロンプトが表示されます。

```
Migrate all persistent deployments found?
yes/no?
```

- 移行プロセスですべてのデプロイメントを自動的に移行し、終了させる場合は **yes** で応答します。
 - 移行を続行するには、**no** と応答します。
3. 続行する場合には、参照される各デプロイメントの移行を確認するプロンプトが表示されます。

```
Migrate persistent deployment 'helloworld01.war'?
yes/no?
```

- デプロイメントを移行するには **yes** で応答します。
- 移行した設定からデプロイメントを削除するには、**no** で応答します。

```
INFO [ServerMigrationTask#68] Removed persistent deployment from configuration
/deployment=helloworld01.war
```

7.2.11.2. マネージドドメインのデプロイメントオーバーレイの移行

デプロイメントオーバーレイの移行は、完全に自動化されたプロセスです。**deployments.migrate-deployments.skip** 環境プロパティを **false** に設定してデプロイメントの移行を有効にしている場合、JBoss Server Migration Tool は移行されたデプロイメントにリンクされているスタンドアロンサー

バー設定で参照されるデプロイメントオーバーレイを検索します。見つかったものを自動的に移行し、参照されていないものを削除して、結果をそのログファイルおよびコンソールに記録します。

7.3. JBOSS EAP 7.X ホスト設定の JBOSS EAP 8.0 への移行

JBoss Server Migration Tool は、デフォルトで、ホストサーバー設定を JBoss EAP 7.x から JBoss EAP 8.0 に移行するときに次のタスクを実行します。

7.3.1. JBoss ドメインプロパティの移行

ドメイン関連のプロパティ名の **master** と **slave** という単語は、'primary' と 'secondary' という単語に置き換えられました。この古いプロパティ名が使用されている場合、移行時に自動で修正されます。

コンソールには、移行によって名前が変更されたプロパティが記録されます。

```
INFO JBoss domain property jboss.domain.master.address migrated to
jboss.domain.primary.address
INFO JBoss domain property jboss.domain.master.port migrated to jboss.domain.primary.port
INFO JBoss domain property jboss.domain.master.protocol migrated to
jboss.domain.primary.protocol
```

プロパティの名前が正常に変更されると、次のメッセージが表示されます。

```
INFO JBoss domain properties migrated.
```

7.3.2. ホスト設定の参照モジュールの移行

ソースサーバーからターゲットサーバーに移行される設定が、ターゲットサーバーにインストールされていないモジュールを参照したり、これに依存する可能性があります。JBoss Server Migration Tool はこれを検知し、参照されるモジュールと、その依存関係モジュールをソースサーバーからターゲットサーバーに自動的に移行します。

ホストサーバー設定で参照されるモジュールは、以下のプロセスを使用して移行されます。

- セキュリティーレلم設定で参照されるモジュールは、プラグインモジュールとして移行されます。

コンソールは、移行されるモジュールのモジュール ID を示すメッセージをログに記録します。 **modules.excludes** 環境プロパティにモジュール ID を指定して、特定モジュールの移行を除外できます。

7.3.3. ホスト設定の参照パスの移行

ソースサーバーからターゲットサーバーへの移行される設定は、ターゲットサーバーにも移行する必要があるファイルパスとディレクトリーを参照したり、これらに依存する可能性があります。JBoss Server Migration Tool は絶対パス参照を移行しません。ソース設定との関連として設定されるファイルやディレクトリーのみを移行します。コンソールは、移行される各パスを示すメッセージをログに記録します。

付録A 参考資料

A.1. TASK SUMMARY レポートの例

以下は、Task Summary レポートの例です。

```

-----
Task Summary
-----

server ..... SUCCESS
standalone ..... SUCCESS
standalone-configurations ..... SUCCESS
  standalone-configuration(source=/home/username/jboss-eap-
8.0/standalone/configuration/standalone-full-ha.xml) .. SUCCESS
  standalone-configuration(source=/home/username/jboss-eap-
8.0/standalone/configuration/standalone-full.xml) ..... SUCCESS
  standalone-configuration(source=/home/username/jboss-eap-
8.0/standalone/configuration/standalone-ha.xml) ..... SUCCESS
  standalone-configuration(source=/home/username/jboss-eap-
8.0/standalone/configuration/standalone-osgi.xml) ..... SUCCESS
  standalone-configuration(source=/home/username/jboss-eap-
8.0/standalone/configuration/standalone.xml) ..... SUCCESS
domain ..... SUCCESS
domain-configurations ..... SUCCESS
  domain-configuration(source=/home/username/jboss-eap-8.0/domain/configuration/domain.xml)
..... SUCCESS
host-configurations ..... SUCCESS
  host-configuration(source=/home/username/jboss-eap-8.0/domain/configuration/host-master.xml)
..... SUCCESS
  host-configuration(source=/home/username/jboss-eap-8.0/domain/configuration/host-slave.xml)
..... SUCCESS
  host-configuration(source=/home/username/jboss-eap-8.0/domain/configuration/host.xml)
..... SUCCESS

-----
Migration Result: SUCCESS
-----

```

A.2. HTML レポートの例

以下は、JBoss Server Migration HTML レポートの例です。

図A.1例: セクションの概要

JBoss Server Migration Report

Summary

Start Time: Mon, 30 Oct 2017 16:13:30 UTC
 Source Server: EAP 6.4.0.GA
 Source Path: /home/username/jboss-eap-6.4
 Target Server: JBoss EAP 7.1.0.GA
 Target Path: /home/username/jboss-eap-7.1
 Result: **SUCCESS**

Environment

baseDir: /home/username/jboss-eap-7.1/migration
 deployments.migrate-deployment-scanner-deployments.processedDeploymentScannerDirs: /home/username/jboss-eap-6.4/standalone/deployments
 report.html.fileName: migration-report.html
 report.html.templateFileName: migration-report-template.html
 report.summary.maxTaskPathSizeToDisplaySubtasks: 3
 report.xml.fileName: migration-report.xml
 subsystem.ee.update.setup.javaee7-default-bindings.defaultDataSourceName: ExampleDS
 subsystem.ee.update.setup.javaee7-default-bindings.defaultJmsConnectionFactoryName: hornetq-ra
 subsystem.logging.update.remove-console-handler.skip: true

Tasks

Executed: 664
 Successful: 564
 Skipped: 100
 Failed: 0

server		-
Task Number:	1	
Task Name:	server	
Task Path:	server	
Logger Name:	org.jboss.migration.core.task.ServerMigrationTask#1	
Result Status:	SUCCESS	
Subtasks:	modules.migrate-modules-requested-by-user standalone domain	
modules.migrate-modules-requested-by-user		
standalone		+
domain		+

図A.2 例: タスクの詳細ページ

Tasks

Executed: 664
 Successful: 564
 Skipped: 100
 Failed: 0

server

Task Number: 1
Task Name: server
Task Path: server
Logger Name: org.jboss.migration.core.task.ServerMigrationTask#1
Result Status: SUCCESS
Subtasks: [modules.migrate-modules-requested-by-user](#)
[standalone](#)
[domain](#)

modules.migrate-modules-requested-by-user

Task Number: 2
Task Name: modules.migrate-modules-requested-by-user
Task Path: server > modules.migrate-modules-requested-by-user
Logger Name: org.jboss.migration.core.task.ServerMigrationTask#2
Result Status: SKIPPED

standalone

Task Number: 3
Task Name: standalone
Task Path: server > standalone
Logger Name: org.jboss.migration.core.task.ServerMigrationTask#3
Result Status: SUCCESS
Subtasks: [contents.standalone.migrate-content-dir](#)
[standalone-configurations](#)

contents.standalone.migrate-content-dir

standalone-configurations

standalone-configuration(source=/home/sgilda/tools/jboss-eap-6.4/standalone/configuration/standalone-full-ha.xml)

subsystems.remove-unsupported-subsystems

subsystems.remove-unsupported-subsystems.remove-unsupported-extension(module=org.jboss.as.cmp)

subsystems.remove-unsupported-subsystems.remove-unsupported-extension(module=org.jboss.as.jaxr)

subsystems.remove-unsupported-subsystems.remove-unsupported-extension(module=org.jboss.as.threads)

subsystems.remove-unsupported-subsystems.remove-unsupported-subsystem(namespace=urn:jboss:domain:cmp:1.1)

subsystems.remove-unsupported-subsystems.remove-unsupported-subsystem(namespace=urn:jboss:domain:jaxr:1.1)

A.3. XML レポートの例

以下は、JBoss Server Migration XML レポートの例になります。

```
<?xml version="1.0" ?>

<server-migration-report xmlns="urn:jboss:server-migration:1.0" start-time="Mon, 30 Oct 2023
16:13:30 UTC">
  <servers>
    <source name="EAP" version="7.4.0.GA" base-dir="/home/username/tools/jboss-eap-7.4"/>
    <target name="JBoss EAP" version="8.0.0.GA" base-dir="/home/username/tools/jboss-eap-8.0"/>
  </servers>
  <environment>
    <property name="baseDir" value="/home/username/tools/jboss-eap-8.0/migration"/>
    <property name="deployments.migrate-deployment-scanner-
deployments.processedDeploymentScannerDirs" value="/home/username/tools/jboss-eap-
7.4/standalone/deployments"/>
    <property name="report.html.fileName" value="migration-report.html"/>
    <property name="report.html.maxTaskPathSizeToDisplaySubtasks" value="4"/>
    <property name="report.html.templateFileName" value="migration-report-template.html"/>
  </environment>
</server-migration-report>
```

```

<property name="report.summary.maxTaskPathSizeToDisplaySubtasks" value="3"/>
<property name="report.xml.fileName" value="migration-report.xml"/>
<property name="subsystem.ee.update.setup-javaee7-default-bindings.defaultDataSourceName"
value="ExampleDS"/>
<property name="subsystem.ee.update.setup-javaee7-default-
bindings.defaultJmsConnectionFactoryName" value="hornetq-ra"/>
<property name="subsystem.logging.update.remove-console-handler.skip" value="true"/>
</environment>
<task number="1" name="server">
<logger logger="org.jboss.migration.core.task.ServerMigrationTask#1"/>
<result status="SUCCESS"/>
<subtasks>
<task number="2" name="modules.migrate-modules-requested-by-user">
<logger logger="org.jboss.migration.core.task.ServerMigrationTask#2"/>
<result status="SKIPPED"/>
</task>
<task number="3" name="standalone">
<logger logger="org.jboss.migration.core.task.ServerMigrationTask#3"/>
<result status="SUCCESS"/>
<subtasks>
<task number="4" name="contents.standalone.migrate-content-dir">
<logger logger="org.jboss.migration.core.task.ServerMigrationTask#4"/>
<result status="SKIPPED"/>
</task>
<task number="5" name="standalone-configurations">
<logger logger="org.jboss.migration.core.task.ServerMigrationTask#5"/>
<result status="SUCCESS"/>
<subtasks>
<task number="6" name="standalone-configuration(source=/home/username/tools/jboss-
eap-6.4/standalone/configuration/standalone-full-ha.xml)">
<logger logger="org.jboss.migration.core.task.ServerMigrationTask#6"/>
<result status="SUCCESS"/>
<subtasks>
<task number="7" name="subsystems.remove-unsupported-subsystems">
<logger logger="org.jboss.migration.core.task.ServerMigrationTask#7"/>
<result status="SUCCESS"/>
<subtasks>
<task number="8" name="subsystems.remove-unsupported-subsystems.remove-
unsupported-extension(module=org.jboss.as.cmp)">
<logger logger="org.jboss.migration.core.task.ServerMigrationTask#8"/>
<result status="SUCCESS"/>
</task>
</subtasks>
</task>
...
<task number="644" name="hosts">
<logger logger="org.jboss.migration.core.task.ServerMigrationTask#644"/>
<result status="SUCCESS"/>
...
<subtasks>
...
<task number="645" name="host(name=master)">
<logger logger="org.jboss.migration.core.task.ServerMigrationTask#645"/>
<result status="SUCCESS"/>
<subtasks>
...

```

